

株主のみなさまへ

株式会社 安川電機
第109期中間ご報告

2024年3月1日 ▶ 2024年8月31日

(証券コード：6506)

株式会社 安川電機

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、2024年度中間期における当社グループの経営環境は、自動車市場において地域ごとの強弱はあるものの底堅い需要が見られました。その一方で、半導体・電子部品向けの需要については回復基調ながら想定より緩やかなものとなりました。製造業全般における設備投資の需要は総じて底堅く推移しましたが、中国の需要は想定よりも低調となりました。このような環境において当社グループの業績は、高水準な受注残に支えられた前年同期に比べ、減収減益となりました。

2024年度下期においては、半導体・電子部品市場の投資再開が見込まれる等、製造業における自動化・省力化に関する設備投資が回復することを想定しています。

今期目標の達成に向け、販売面では「i³-Mechatronics (アイキューブ メカトロニクス)」プロジェクトで実証されたソリューションの展開を加速させるとともに、「iCube Control^{*1}」の製品群である「iC9000シリーズ」を軸としたソリューション展開を欧米において実行します。また、自律性を備えた次世代ロボット「MOTOMAN NEXT」の価値を浸透させるべく、未自動化領域へのプロモーション活動を拡販パートナーと連携して加速させます。また、バイオメディカル用途向けロボット「まほろ」についても、パートナーとの協業を具体化させるなど、メカトロニクス応用領域の事業拡大に向けたパートナー戦略を実行します。

生産面については、さらなる効率化に向けた既存工場の自動化領域拡大と国内事業所の再編計画の策定を完了させます。「YDX-II^{*2}」プロジェクトも推進し、グローバル人材データの可視化に向けた新人事システムの導入や生成AIの活用に向けて、データに対するガバナンス強化と使用環境の整備を加速します。

中期経営計画「Realize 25」を達成するために、「One YASKAWA」の文化醸成を通じ全従業員が一人となり、これらの取組みを着実に実行していきます。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申しあげます。

*1：2024年1月から展開を開始した、i³-Mechatronicsを実現する当社独自のコントローラソリューション。

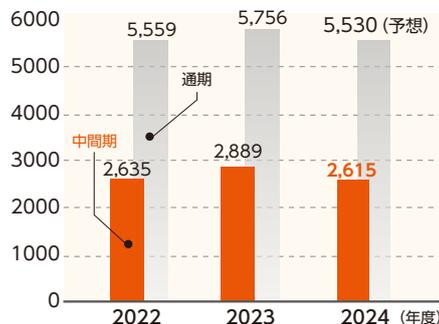
*2：YASKAWA digital transformationの略。YDX-Iでは、経営資源の可視化・一元化とその最適配置を目指した活動を実施。

YDX-IIでは、PLM再構築をベースとしたデータ連携による全体最適化を実現。

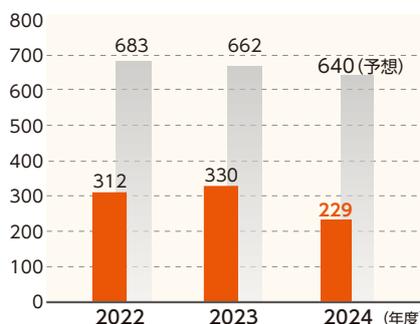
2024年10月

代表取締役社長 小川 昌寛

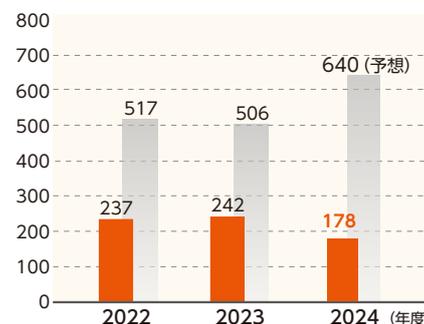
● 売上収益 (単位:億円)



● 営業利益 (単位:億円)



● 親会社の所有者に帰属する当期利益 (単位:億円)



セグメント別の概況

モーションコントロール

ACサーボモータ・コントローラ、インバータなどの製品は、機械や生産設備の高度化・省力化に貢献しています。

■ 経営成績

ACサーボモータ・コントローラにおいては、中国・欧州市場の低迷や、日本における半導体関連需要の回復遅延などの影響を受け、売上収益は減少しました。

インバータにおいては、データセンタ関連の需要やアセアン各国・インドにおけるインフラ関連需要は底堅く推移しましたが、在庫調整等の影響を受け販売が伸び悩み、売上収益は減少しました。

これらの結果、セグメント全体の売上収益は、高水準な受注残に支えられた前年同期に対し、減収となりました。利益面については、経費の抑制、付加価値の改善は進んだものの売上減少に伴う利益減の影響を大きく受け、減益となりました。

■ 新製品

マシンコントローラ「MPX1012J」を販売開始

「MPX1012J」は、マシンコントローラ「MPX1000シリーズ」のラインアップとして、自動車関連製造装置で多数使用されている株式会社ジェイテクト製PLC TOYOPUC-Nano 10GXにバス接続（ベースモジュールに直接装着）が可能です。これにより、当社のサーボドライブ製品の性能と合わせ、お客様の装置性能と付加価値向上に貢献してまいります。

売上収益 前年同期比 $\triangle 15.1\%$

1,194億38百万円

営業利益 前年同期比 $\triangle 45.5\%$

110億10百万円



マシンコントローラ
MPX1012J

ロボット

自動車関連市場を中心に、様々な産業分野において溶接、塗装、組立、搬送などの自動化に貢献しています。

■ 経営成績

自動車市場においては日本や欧米、インドなどで需要が増加しましたが、中国では投資を控える動きがみられました。一方、一般産業分野では米国や中国などで自動化需要が底堅く推移しました。

これらの結果、売上収益は前年同期比で若干の減少となりました。利益面については、システム対応力強化に向けた先行投資や売上減少に伴う利益減の影響などにより減益となりました。

■ 新製品

アルミ材の摩擦攪拌接合へ適用可能なロボット「MOTOMAN-GG250」を販売開始

当社として新たにアルミ材の摩擦攪拌接合（Friction Stir Welding 以下「FSW」）への適用が可能なロボット「MOTOMAN-GG250」（可搬質量250kg、最大リーチ2711mm）を2024年10月8日より販売開始しました。現在、自動車業界では車体を軽量化する設計が進んでおり、比較的新しい接合方法として多数の利点を持つFSWが注目されています。FSWには大きな加圧力が必要となるため、剛性を高めた機構をもつロボット「MOTOMAN-GG250」を製品化しました。

売上収益 前年同期比 $\triangle 0.2\%$

1,120億82百万円

営業利益 前年同期比 $\triangle 18.5\%$

105億96百万円



MOTOMAN-GG250

システムエンジニアリング

1世紀にわたり培った技術と豊富な実績により、社会の安全・安心と豊かな暮らしを支えます。

■ 経営成績

港湾クレーン関連の販売が堅調に推移しましたが、前年度下期の大型風力発電関連の子会社売却影響により、売上収益は前年同期比で減少しました。

利益面については、主力の鉄鋼・クレーン関連の売上増加に加え、事業構造改革の効果により大幅な増益となりました。

売上収益 前年同期比 $\triangle 19.3\%$

186億1百万円

営業利益 前年同期比 $+34.4\%$

18億69百万円

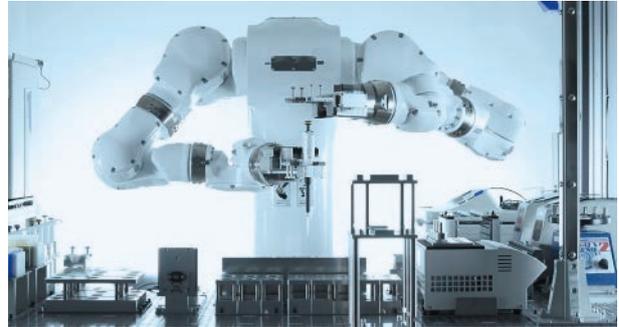
安川電機のロボット技術とアステラス製薬の製薬技術を融合した細胞医療プラットフォームを構築

2024年5月、アステラス製薬と、ロボット技術と製薬技術の融合による革新的な細胞医療プラットフォームの構築に向けた覚書を締結しました。これにより、高品質な細胞医療製品の製造と研究開発期間の短縮を実現する、新たな細胞医療プラットフォームを共同で創出することを目指します。

2017年末、アステラス製薬は当社の子会社が開発・販売しているバイオ向け双腕ロボット「まほろ」を導入し、細胞医療の創薬研究および製造技術研究を進めてきました。今回の取組みにおいては、この「まほろ」を活用し、細胞医療における革新的な細胞製造技術、臨床開発および細胞医療に関連する当局の規制に関する知見を、プラットフォームの構築に向

けて提供していきます。

アステラス製薬との協業を通じて、医療領域におけるサステナブルな社会の実現に貢献してまいります。



バイオ向け双腕ロボット「まほろ」

中部ロボットセンターにて、カーボンニュートラル(CO₂排出量ゼロ)を達成

中部ロボットセンター(愛知県みよし市)において、事業所のエネルギー構成の100%を電力のみで供給することで、国内の拠点として初めてカーボンニュートラル(CO₂排出量ゼロ)を達成いたしました。

当社は、安川グループの環境ビジョンである「YASKAWA ECO VISION」において、生産活動(グリーンプロセス)における環境負荷を従来以上に低減するとともに、技術力をもっ

て環境性能を高めた製品(グリーンプロダクト)により世の中の環境負荷を低減することで更なる貢献を果たすことを掲げています。今後も、生産活動や製品での貢献に留まらず、営業拠点での環境に配慮したCO₂排出削減の取組みを通じて、持続可能な社会の実現への貢献と企業価値の向上を図ってまいります。

YASKAWA ECO VISION



中部ロボットセンターの外観

トピックス

欧州地域でのロボット生産体制の強化を決定

安川電機の欧州子会社である安川電機ヨーロッパは、スロベニア南部のコチエヴェ市にある、ロボットシステム工場の移転拡張を決定いたしました。新しく「欧州ロボット物流センター」を設立し、欧州・中東・アフリカ(EMEA)地域におけるロボット受注の一元化を図るなど、ロボット生産体制の更なる強化を目指します。



YASKAWA Europe Robotics 拡張後イメージ(赤枠部:ロボットシステム工場・ERDC)

●株式の状況 (2024年8月31日現在)

■発行済株式の総数 266,690,497株

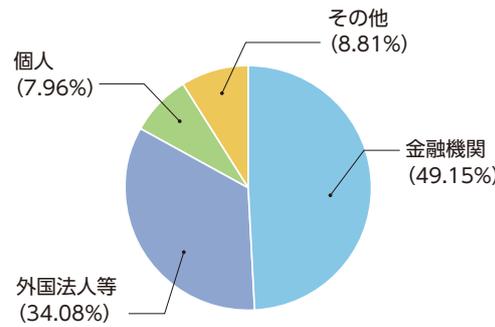
■株主数 37,810名

■大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	47,703	18.17
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	24,745	9.42
STICHTING PENSIOEN FONDS ABP	12,817	4.88
株式会社みずほ銀行	8,100	3.09
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行退職給付信託口)	7,439	2.83
明治安田生命保険相互会社	7,230	2.75
株式会社日本カストディ銀行 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口)	5,100	1.94
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	5,077	1.93
第一生命保険株式会社	4,199	1.60
株式会社西日本シティ銀行	3,438	1.31

(注)持株比率は、自己株式(4,123千株)を控除して計算しております。

■所有者別株式分布状況



■配当金情報

第109期(自2024年3月1日 至2025年2月28日)配当について

中間配当	1株につき	34円
期末配当	1株につき	34円(予想)
年間	1株につき	68円(予想)

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会開催月/配当金受領株主確定日 5月/毎年2月末日および8月31日

公告方法 電子公告 (<https://www.yaskawa.co.jp/ir/>)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社

■未払配当金のお支払い

みずほ信託銀行・みずほ銀行の本店および全国各支店にてお支払いいたします。

定款の定めにより配当金の支払開始日から3年を超えてのお支払いはできかねますので、お早めにお受け取りをお願いいたします。

■住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法のご指定、確定申告、相続に伴うお手続き、マイナンバーのお届出など

証券会社に口座をお持ちの株主さま 口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。

証券会社に口座をお持ちでない株主さま(特別口座に記録されている株主さま) みずほ信託銀行(下記)にお問い合わせください。

■お問い合わせ先

〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行 証券代行部

フリーダイヤル



0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)

YASKAWAレポート2024発行のご案内

<https://www.yaskawa.co.jp/>

当社グループの目指す中長期的な価値創造についてご理解いただくための情報を掲載しています。



株主・投資家情報をクリック



統合報告書
[YASKAWAレポート]



安川電機

検索

YASKAWAレポート2024

今年のレポートでは、当社独自の差別化戦略であるソリューションコンセプト「i³-Mechatronics」を通じた社会・産業の発展への貢献について、これまで以上に具体的な説明を心がけました。ぜひご覧ください。



QRコード

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

本冊子に記載の数値は切り捨て、比率については四捨五入しており、決算補足資料など他資料と異なる場合がありますので、ご了承ください。